

新規就農にむけて当場の繋養牛を譲渡

当場では、来年度に京丹後市で和牛繁殖農家としてスタートする新規就農者を支援するため、全農京都府本部（全農）と連携して妊娠牛の譲渡を予定しており、収納開始にあたり、自らの目指す経営に見合った牛を確認するため来場され、対象候補牛を1頭1頭細かく観察し、その中から2～3産で足腰のしっかりとした、妊娠牛と妊娠予定牛を選定されました。

現在、新規就農に向けて自力施工での畜舎建設が進んでおり、完成後4月を目途に、選定された牛を譲渡することとなっています。

今後、関係機関が一体となり、新たな畜産の担い手として独立していけるよう支援していきます。



当場の牛を確認している新規就農者



自力施工による完成間近の牛舎